

〔農業の多面的機能を活かした都民との共生〕

食農教育の推進

馬場 隆

(経営部)

【要 約】 小学校、保育園・幼稚園および都民を対象に稲作指導とサツマイモ栽培体験を行った。対象団体は稲作巡回指導4校、稲作体験学習8団体、サツマイモ栽培体験13団体であった。

【目 的】

都市農業では圃場が住宅に隣接しており、周辺住民の農業に対する理解が不可欠である。また、学校関係からは稲作指導に対する要望があり、総合学習の開始と共に高まっている。これらを踏まえ、小学校、保育園・幼稚園及び都民を対象とした農作業の技術指導を行う。

【方 法】

- 1) 稲作巡回指導：学校水田・バケツ稲の巡回指導。田植、肥培・水管理から脱穀・調整までの指導。種籾・育苗苗の配布。
- 2) 稲作体験学習：場内の水田において粳米、糯米、紫黒米を栽培し、田植えから脱穀・調整までを体験させる。
- 3) サツマイモ栽培体験：公募により選ばれた保育園・幼稚園に対し、苗取・植付、除草・観察、蔓刈・掘取を体験させた。

【成果の概要】

- 1) 稲作巡回指導：小学校4校を対象に栽培技術、農業用水、水田の生物等に関する説明を行った。夏の低温・多雨のため、生育遅延・病害虫や冷害・備蓄米に関する質問が多かった。3年目の学校では先生・用務員が農作業については指導出来るようになった。後に送られてきた感想文では、脱穀機・籾摺り機に興味を持った、稲に付く生物に興味を持った、来年も米作りに挑戦したい、米粒が大切にできてきた、と言う意見が多かった。
- 2) 稲作体験学習：小学校5、保育園1、高校1、農業関係1団体を対象に稲作を体験させた。夏休みの間も除草・生育観察を行わせた。籾殻、米糠、稲藁を使った授業への発展も見られた。児童からは、農業・農家の大変さが分かった、最初ノコギリ鎌が怖かった、色々な生物が多くいた、作った米が美味しかった、との感想文が寄せられた。先生からは、児童にとっては最初で最後の体験かもしれない、との話であった。
- 3) サツマイモ栽培体験：保育園・幼稚園12、小学校1校を対象に体験させた。除草等の作業や生育観察に熱心な園もあった。また、生き物観察、蔓飾りの製作やサツマイモ料理へ内容を拡げている例も見られた。今回品種は‘高系14号’‘ベニアズマ’‘春こがね’を用いたが、‘春こがね’は平年と比べ肥大がやや悪く、細長くなる傾向が見られた。‘高系14号’‘ベニアズマ’の生育は順調であった。参加団体からは、農業や土・生きものと触れ合い体験することが出来た、一緒に作業することにより連帯感が深まった、農業試験場がどの様な所か分かった、と言う意見が聞かれた。

表1 巡回指導

	指導項目	学校数
5月	施肥・肥培管理	1
6月	田植・水管理	1
7月	水管理・雑草	2
8月	生育障害・病害虫	3
9月	生育障害・病害虫	3
10月	稲刈	2
11月	脱穀・調整	2

表2 稲作体験（場内水田14a）

	作業内容	小学校数	その他
4月	種子予措・播種 (塩水選・浸種)		1(6)
5月	育苗管理		1(6)
6月	田植・水管理	5(386)	3(45)
	生育観察・除草	5(386)	3(45)
7月	除草・観察 (手取・田押車)	5(386)	3(45)
8月	観察	5(67)	1(8)
9月	観察	2(121)	1(8)
10月	稲刈・はざ掛 (手刈)	5(386)	2(39)
11月	脱穀・調整 (千歯・脱穀機)	4(295)	2(39)

()は人数

表3 サツマイモ栽培体験（場内水田10a）

	作業内容	保育園	小学校
5月	苗取・植付	12(915)	1(93)
6月	除草	6(441)	
7月	除草・観察	8(538)	1(3)
8月	観察	4(18)	
9月	観察	2(25)	
10月	蔓刈・掘取	12(915)	1(93)

()は人数